

# 無痛分娩看護マニュアル

## ・入院までの流れ：

無痛分娩希望あれば常勤妊婦健診枠の予約を行う。常勤医師より当クリニックでの無痛分娩の適応、流れの説明、案内用紙を渡し、次回受診時に無痛分娩の希望の有無の確認を行う。

34 週—36 週 妊婦健診受診時に無痛分娩希望の有無を再度確認。凝固系を含む採血、心電図、レントゲン検査を案内。常勤医師より無痛分娩について説明し、同意書を渡す。  
以後、常勤枠で毎週妊婦健診。入院日が決定したら入院案内を行う。

## ・入院後の流れ：

- ① 分娩室 3 へ案内。同意書の確認。Vital check。
- ② 採血、ルート確保。ピカネイト 500ml 20ml/hr 投与開始。ペントシリン 1 g（GBS 陽性の場合にはペントシリン 2g）投与。
- ③ 血圧計、パルスオキシメーター装着。CTGモニター開始。
- ④ 医師診察（必要に応じてメトロイリントによる頸管拡張）後、硬膜外カテーテル挿入の準備のため右側臥位。背部を露出し穿刺の準備を行う。

## ・硬膜外カテーテルの準備：

硬膜外カテーテルキット、22G カテラン針、神経麻酔用 10ml シリンジ 2 本、神経麻酔用 50ml シリンジ 1 本、三方活栓 1 個、エックステンションチューブ 1 本、クーデックエイミー PCA ポンプ（本体、スマートフォンアプリケーション、コムタッチ、PCA スイッチ、エイミー MP ユニット 100ml）、0.25% ボプスカイン 100ml、1% キシロカイン 10ml 2A、フェンタニル注射液 0.1 mg 2A、生理食塩液 20ml 1 本、生理食塩液 100ml 1 本、クロルヘキシジン消毒薬

## ・無痛分娩カテーテル挿入後の分娩の流れ。：

無痛分娩開始のタイミングは患者より無痛分娩開始の希望があった場合。

無痛分娩中は CTG 連続モニター。

無痛分娩中は 1 時間毎に血圧、脈拍、体温、疼痛スケール、麻酔域チェック。

薬液注入時は血圧 2.5 分～5 分ごとに 15 分間測定。

1 時間に 1 回は内診。

痛みの増強時は内診、疼痛部位、疼痛スケール、麻酔域確認を行い医師連絡。

トイレ歩行は不可。導尿もしくは尿バルンカテーテルで対応。

基本的に歩行での移動は不可。移動は車いすかストレッチャーで行う。

## ・無痛分娩終了後の流れ。：

胎盤娩出後、PCA ポンプ終了。

初回歩行は両下肢の痺れがなく、筋力低下がないことを確認後、看護師の付き添いのもと行う。

硬膜外カテーテルは分娩室退室時もしくは翌日回診時に医師が行う。

無痛分娩終了後に排尿障害を認めることがある為、尿意、自尿のチェックを必ず行う。尿意があり、自尿が認められるようならチェック終了。

以上

2025 年 8 月 26 日